



# ブラック・スワン食糧保障

ブラックスワン食糧保障メールマガジン 2023年12月01日配信号

いや～寒くなってきましたねー

関西では今週は毎日2℃ずつぐらい最高気温が下がりに続いています。

さて今回は皆さまにご了承頂きたい件がございます。

皆様ご存知の様に、畜産品の高騰を受け、今年前半にサービス開始以来、初めて加入価格の値上げをさせて頂きました。

その後、私なりにこのスキームを再検討していたのですが・・・

そもそも価格高騰に応じて加入価格を変更させて頂くのであれば、加入者様の権利行使価格が高すぎるのではないかとという思いに至りました。

そこで色々と検討致しました結果、現在の権利行使価格である3500円を引き下げ、2000円に大幅変更させて頂こうという事になりました。

勿論、加入価格と連動して今後は権利行使価格も変動いたしますが、概ね加入時の日経新聞輸入生鮮欄のデンマークカラー価格の3倍とみて頂ければ良いかと思えます。

基本的に加入者様に不利益をもたらすものではございませんので、問題はないかと思えますが、年内に皆様のご意見やご質問を受け付け、問題が無さそうであれば、年始より変更させて頂こうと思えます。

この際ですので、その他の事も含め、どんだんご質問ご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。さてここからはいつもの暗い話です。

皆さんの中で、「いずれ富士山は噴火する」と思われている方はいらっしゃるでしょうか？

5年以上前になりますが、東京出張に向かう新幹線の窓から見た富士山が、いつもより膨張している様な気がしたことがあります。

その時に何となく、自分が生きているうちに噴火するかもしれないなーと考えるようになりました。

つい先日東京大学と山梨県富士山科学研究所の発表によりますと、休火山である富士山の噴火空白期間は1707年の宝永大噴火から300年以上空いており、過去最長であるとのことです。

また宝永大噴火はM8.7といわれる宝永地震の49日後に発生しています。

そうしますと、今後30年以内に起こるといわれる南海トラフに連動して、富士山噴火が起こる危険性が考えられるという事です。

大地震と富士山噴火がダブルで来るなんて踏んだり蹴ったりですよ...

私が勉強させて頂いているBBT大学院でも、代表である大前研一さんが、同じような事に言及され、その際の対策は宝永噴火の例を研究する事だとおっしゃっていました。

当時は火山灰が江戸でも30センチも積り、長期に渡って空が灰で覆われ、天候不順や冷害で農作物が大打撃を受けた様です。

風は西から東に流れていきますので、富士山以東の農地、特に農業が盛んな千葉県や茨城県は大打撃を受け、日本の食糧事情に大きく影響を及ぼすでしょう。

当時と全く違う大きなリスクもあります。

実は火山灰というのは微量の金属を含んでいます。

火山灰が積もった電線や変電施設、鉄道などは、この火山灰が通電する事により、あちらこちらでショートしてしまう可能性があるとの事です。

また皆さんが持っているスマホやPC、会社のサーバーなどにも、どこかしらから火山灰が入り込み使用不能になってしまうでしょう。

まさに「首都陥落」ということです。

今回は以上です。

ご一読頂き有難うございました。

ブラックスワン食糧保障

草間 弘人

正しく表示されない場合は[こちら](#)

今後も引き続きメールの受信を希望される方は[こちらをクリック](#)してください。今後メールの受信をご希望されない方は、こちらから[配信停止手続きが行えます。](#)

大阪市港区 弁天 1 - 2 - 1

配信停止

